

藩校で自由な議論 明治維新の土壌に 碧南で愛教大講座

愛知教育大の連携公開講座が十五日、碧南市文化会館であり、前田勉教授（日本思想史）が「明治維新の原動力となった藩校教育」をテーマに話した。中学生以上の男女十二人が熱心に

耳を傾けた。

前田教授は、藩校での学び方の特徴として「会読」という車座の討論会を挙げ、活発な議論が忠義や孝行など儒教の教えにとどまらず政治的議論にまで発展した、と紹介した。厳しい縦の封建社会の中、自由な



明治維新の原動力となった藩校教育について話す愛教大の前田教授。碧南市文化会館で

議論が横へ広がった動きに注目し、「身分、地域の差を超えて結び付いていった

のが明治維新の精神」と指摘した。

質疑では、安城市から参加した男性（60）が「明治維新は下士（身分の低い武士）が活躍したイメージだったが、上士と下士が身分の差を超えて議論する場があったことが土壌となったと知り、驚いた」と感想を述べていた。